

第2学年

各教科・科目の授業概要

(年間の指導内容・評価規準)

令和5年度



愛媛県立今治西高等学校

< 目 次 >

国 語

- (1) 文 学 国 語 4
- (2) 古 典 研 究<Ⅰ・Ⅱ類型> 12
- (3) 古 典 研 究<Ⅲ類型> 23

地 理 歴 史

- (1) 地 理 探 究 34
- (2) 日 本 史 探 究 42
- (3) 世 界 史 探 究 49

公 民

- 公 共 57

数 学

- (1) 数 学 Ⅱ<Ⅰ・Ⅱ類型> 67
- (2) 数 学 Ⅱ<Ⅲ類型> 72
- (3) 数 学 B<Ⅰ・Ⅱ類型> 77
- (4) 数 学 B<Ⅲ類型> 80
- (5) 数 学 C<Ⅲ類型> 82

理 科

- (1) 物 理 基 礎 85
- (2) 物 理 93
- (3) 化 学 100
- (4) 生 物 110
- (5) 地 学 基 礎 113

保 健 体 育

- (1) 体 育 118
- (2) 保 健 127

外 国 語

- (1) 英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅱ<Ⅰ・Ⅱ類型> 133
- (2) 英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅱ<Ⅲ類型> 147
- (3) 論 理 ・ 表 現 Ⅱ<Ⅰ・Ⅱ類型> 161
- (4) 論 理 ・ 表 現 Ⅱ<Ⅲ類型> 170

情 報

- 情 報 1 179

国語科【文学国語】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

教 科	国語	科 目	文学国語		
単 位 数	3	学 年	2	類 型	共通
教 科 書	明治書院 精選 文学国語				
科目目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 - 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 - 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

令和5年度1学期 国語科【文学国語】 評価規準

単 元	小説文の形式を知り、それを読み、書く意義を考えよう。(『言葉によって』)				
評価時期	1学期 4月				
単元の目標	- 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解できる。 - 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解している。		・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。		・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めた上で、文学的な文章が書かれる意義について粘り強く考察し、自らの学習を調整しようとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	小説における言葉の働きを理解し、比べ読みを通して、人間や社会に対するものの見方や考え方を深めよう。(『山月記』)	
評価時期	1学期 4～5月	
単元の目標	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容の解釈ができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	・小説で用いられている言葉の働きを理解した上で、他の関連作品との読み比べにより、それぞれの表現の特色を考察し、言葉を通して人間や社会に対するものの見方や考え方を深めることに粘り強く努め、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	詩というジャンルの特性を理解し、その魅力を話し合おう。(『詩の自由を探る』)	
評価時期	1 学期 5 月	
単元の目標	・ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解できる。 ・ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方などを深めることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解している。	・ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方などを深めている。	・ 具体的な作品分析を踏まえて、詩というジャンルの歴史性や特徴、表現上の効果について話し合う活動を通して、韻文の持つ魅力や価値について粘り強く考え、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 1 学期期末考查 ・ 授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・ 第 1 学期期末考查 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	詩的表現の持つ力や可能性について話し合い、戦争が人々の心に与える影響について考察を深めよう。(『崖』)	
評価時期	1 学期 5 ～ 6 月	
単元の目標	・ 文学的な文章における文体の特徴や修辞の働きなどの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 ・ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文学的な文章における文体の特徴や修辞の働きなどの表現の技法について、体系的に理解し使っている。	・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・詩というジャンルの特徴や表現上の特色を理解した上で、作品中に表現されている作者のものの見方や感じ方について話し合う活動を通して、戦争が当時の人々の心に与えていた影響について粘り強く考え、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	戦争をめぐる文学作品を視点や語り方に注意しながら読み、戦争文学を語り継ぐ意義について話し合おう。(『空缶』)	
評価時期	1学期 6月	
単元の目標	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察できる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。	・作品中に登場する人物がそれぞれ持っている思いに着目しながら作品を多角的に読み取った上で、戦争文学を語り継ぐ意義について話し合う活動を通して、自分と戦争の関係性について粘り強く考え、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期期末考査 ・授業プリント・ノートの記述内容
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単元	時代や社会との対話によって生まれた文学作品を読み、文学の言葉を媒介にしなが ら思考し、社会の諸問題と向き合おう。(『苦海浄土』)		
評価時期	1学期 7月		
単元の目標	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深め ることができる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立し た背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を 向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や 社会に関わろうとする態度を養う。		
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文学的な文章を読むことを通 して、我が国の言語文化の特 質について理解を深めてい る。		・作品に表れているものの見方、 感じ方、考え方を捉えるとと もに、作品が成立した背景や 他の作品などとの関係を踏ま え、作品の解釈を深めている。	・水俣病に関連した文学作品に 表れているものの見方や考え 方を読み取り、作品が成立し た背景について考える活動 を通して、近代以降の世界が抱 える諸問題について粘り強く 考察し、自らの学習を調整し ようとしている。
観 点		評 価 内 容	
知識・技能		・授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現		・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度		・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

令和5年度2学期 国語科【文学国語】 評価規準

単 元	近代日本文学の代表的な作品を読み、解釈の多様性を考察することを通して、言葉の芸術としての小説の力を伝え合おう。(『こころ』)	
評価時期	2学期 8月～10月	
単元の目標	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察できる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	・文学作品における言葉の働きや、文章構成、表現方法の工夫を手掛かりに作品を解釈していく中で、解釈の多様性について粘り強く考察し、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容 ・言語活動の相互評価	
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・言語活動の相互評価	

単 元	近現代の諸問題と対話することで思索を深め、既存の価値観を相対化する視座を身に付けよう。(『現代日本の開化』)	
評価時期	2学期 10月	
単元の目標	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・現在を生きる私たちにとって、この講演がどのような意味を持つか話し合うことで、近代以降の世界が抱える諸問題について、文学の言葉を媒介にしながら粘り強く思考し、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	登場人物のものの見方や感じ方を、地理的特色や時代背景を踏まえて解釈し、小説を読む楽しみを味わおう。(『檸檬』)	
評価時期	2学期 10～11月	
単元の目標	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	・作品に表れている登場人物のものの見方や感じ方を、地理的特色や時代背景を踏まえて粘り強く解釈しようとする中で、読書の意義と効用について理解を深め、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期期末考査 ・授業プリント・ノートの記述内容
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	小説に描かれた「場所」について調べ、その「場所」が作品に与えた影響について考え、文学の読みを深めよう。（『都市は／を語る』）		
評価時期	2 学期 11～12 月		
単元の目標	・ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 ・ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	・ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・ さまざまな小説に関連のある「場所」について調べ、作品に与える影響について考察する活動に粘り強く取り組む中で、ものの見方や感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 第 2 学期期末考査 ・ 授業プリント・ノートの記述内容		
思考・判断・表現	・ 第 2 学期期末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容		
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察		

令和5年度3学期 国語科【文学国語】 評価規準

単 元	歴史的な文脈の中に作品を置き、批評性や問題意識をつかんで解釈し、登場人物に向けて手紙を書こう。(『舞姫』)	
評価時期	2学期 12月 ～ 3学期 2月	
単元の目標	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫できる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。	・時代状況や舞台設定に注目して作品を解釈し、登場人物に向けて手紙を書く中で、読み手の関心が得られるよう粘り強く工夫するなどして、語感を磨き語彙を豊かにし、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・授業プリント・ノートの記事内容	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・言語活動プリントの記事内容 ・言語活動の相互評価	
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記事内容 ・授業プリント・ノートの記事内容 ・言語活動の相互評価	

単 元	発表された時代背景を踏まえて文学の歴史性を理解し、「美」とは何かについて考えよう。(『日本文化私観』)	
評価時期	3学期 3月	
単元の目標	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	・ 作品が発表された当時の時代背景についてまとめる活動を通して、文学に関する文章の種類や作品の解釈、文学の歴史性を粘り強く理解しようと取り組み、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

国語科【古典研究＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

教 科	国語	科 目	古典探究		
単 位 数	3	学 年	2	類 型	Ⅰ・Ⅱ類型
教 科 書	古典探究（大修館書店）				
科目目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

令和5年度 1学期 国語科【古典探究＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	古人の豊かな情操に触れよう。（『徒然草』花は盛りに、『玉勝間』）				
評価期間	1学期 4月				
単元の目標	・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。		・ 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。		・ 『随筆』というジャンルの特徴について理解し、同じ題材を取り上げた文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりする活動を通して、書き手の思想を捉えて内容を粘り強く解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する中で、自らの学習を調整しようとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・古文単語テスト
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	故事成語の内容や背景を理解し、日々の生活に生かそう。(故事・逸話『漱石枕流』『塞翁馬』『知音』)	
評価期間	1学期 5月～6月	
単元の目標	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解し、古典の言葉を現代の言葉と比較し、その変遷について分かったことや考えたことを話し合う活動を通して、文章の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしようと粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・漢文句法テスト	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	歌に込められた登場人物の思いや歌徳をとらえよう。(『大和物語』をばすて)	
評価期間	1 学期 6 月	
単元の目標	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、内容や歌物語という形式に関して興味をもったことや疑問に感じたことについて議論する活動に粘り強く取り組み、物語に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間という存在に対する自分の考えを広げたり深めたりする中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1 学期期末考査 ・ 古文単語テスト	
思考・判断・表現	・ 第1 学期期末考査 ・ 授業プリント・ノート記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	作品に託された思いについて話し合い、真理を求める態度を養おう。(『桃花源記』)	
評価期間	1 学期 6 ～ 7 月	
単元の目標	・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。	・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・物語を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解し、時代背景を知った上で、陶潜がこの作品に託した思いについて話し合う活動に取り組み、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を粘り強く解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価しようとする中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・漢文句法テスト	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

令和5年度 2学期 国語科【古典探究＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	複数の文章を読み比べ、旅について書かれた日記の意義を考えよう。（『十六夜日記』『土佐日記』）
評価期間	2学期 9月
単元の目標	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	・ 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・ 旅について書かれた日記文学と日記と日本人について書かれた評論を読み比べる活動を通して、文章の種類とその特徴について理解を深め、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について粘り強く評価する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期中間考査 ・ 古文単語テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期中間考査 ・ 授業プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 言語活動の相互評価	

単 元	時代背景を踏まえて、史伝に描かれた歴史上の人物の生き方を読み取ろう。（『史記』鴻門の会、項王の最期）
評価期間	2学期 10月
単元の目標	・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、項羽と劉邦の人物像について話し合う活動を通して、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期中間考査 ・ 漢文句法テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期中間考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	時代を超えて読み継がれる物語の魅力について話し合おう。（『源氏物語』誕生）
評価期間	2学期 11月
単元の目標	・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 ・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・ 平安時代を代表する物語文学を読み、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して語感を磨き、作品の文学的意義について話し合う活動に粘り強く取り組み、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間や社会に対する自分の考えを広げたり深めたりする中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 古文単語テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	自然・旅情・別離・憂愁のテーマごとに作品に表れている心情を味わおう。(近体詩)
評価期間	2学期 11～12月
単元の目標	・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・ 近体詩における言葉の響きやリズム、修辞など表現の特色について理解を深め、書き手の心情を捉えて内容を解釈するとともに、漢語の特色を生かして緊密に構成された韻文の魅力を踏まえて工夫しながら音読する活動に粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 漢文句法テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

令和5年度 3学期 国語科【古典探究＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	歴史物語を多角的な視点で読み比べよう。（『大鏡』雲林院の菩提講、花山院の出家『栄花物語』花山たづぬる中納言）
評価期間	3学期 1月
単元の目標	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 同じ題材を取り上げた複数の文章を読み比べ、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、登場人物の心情を文章にまとめて発表する活動に粘り強く取り組み、複数の文章の読み比べを通して、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 古文単語テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	現代にまで受け継がれている儒家思想に興味を持ち、人間の「本性」について論述しよう。(思想『孟子』『荀子』『老子』『荘子』)
評価期間	3 学期 1 月～2 月
単元の目標	・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。 ・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、儒家思想の複数の文章を読み比べて、それぞれの主張の共通点や相違点について論述したり発表したりする活動に粘り強く取り組み、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げる中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 漢文句法テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	和歌の修辞や表現に興味を持ち、豊かな情操を培おう。(和歌と歌論『古今和歌集』仮名序一やまと歌、六歌仙の歌、『無名抄』)
評価期間	3 学期 3 月
単元の目標	・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 ・ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	・ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	・ 韻文における、言葉の響きやリズム、修辞などの表現を理解し、そこに表れた先人のものの見方、感じ方、考え方に親しむとともに、和歌を多面的・多角的な視点から評価し、発表する活動に粘り強く取り組み、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 古文単語テスト	
思考・判断・表現	・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

国語科【古典研究＜Ⅲ類型＞】 評価規準

教 科	国語	科 目	古典探究		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	古典探究（大修館書店）				
科目目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 - 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 - 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

令和5年度 1学期 国語科【古典探究＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	古人の豊かな情操に触れよう。（『徒然草』花は盛りに）				
評価期間	1学期 4月				
単元の目標	- 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 - 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。		「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。		『随筆』というジャンルの特徴について理解し、同じ題材を取り上げた文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりする活動を通して、書き手の思想を捉えて内容を粘り強く解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する中で、自らの学習を調整しようとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・古文単語テスト
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	故事成語の内容や背景を理解し、日々の生活に生かそう。(故事・逸話『漱石枕流』『塞翁馬』)		
評価期間	1学期 5月～6月		
単元の目標	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解し、古典の言葉を現代の言葉と比較し、その変遷について分かったことや考えたことを話し合う活動を通して、文章の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしようと粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・漢文句法テスト
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	歌に込められた登場人物の思いや歌徳をとらえよう。（『大和物語』をばすて）	
評価期間	1学期 6月	
単元の目標	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、内容や歌物語という形式に関して興味をもったことや疑問に感じたことについて議論する活動に粘り強く取り組み、物語に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間という存在に対する自分の考えを広げたり深めたりする中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・古文単語テスト	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・授業プリント・ノート記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	作品に託された思いについて話し合い、真理を求める態度を養おう。(『桃花源記』)	
評価期間	1 学期 6～7 月	
単元の目標	・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。	・ 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・ 物語を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解し、時代背景を知った上で、陶潜がこの作品に託した思いについて話し合う活動に取り組み、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を粘り強く解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価しようとする中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 1 学期期末考査 ・ 漢文句法テスト	
思考・判断・表現	・ 第 1 学期期末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

令和 5 年度 2 学期 国語科【古典探究＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	複数の文章を読み比べ、旅について書かれた日記の意義を考えよう。(『十六夜日記』)
評価期間	2 学期 9 月
単元の目標	・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・旅について書かれた日記文学と日記と日本人について書かれた評論を読み比べる活動を通して、文章の種類とその特徴について理解を深め、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について粘り強く評価する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・古文単語テスト	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・授業プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・言語活動の相互評価	

単 元	時代背景を踏まえて、史伝に描かれた歴史上の人物の生き方を読み取ろう。（『史記』鴻門の会、項王の最期）
評価期間	2学期 10月
単元の目標	・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、項羽と劉邦の人物像について話し合う活動を通して、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期中間考査 ・ 漢文句法テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期中間考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	時代を超えて読み継がれる物語の魅力について話し合おう。（『源氏物語』誕生）
評価期間	2学期 11月
単元の目標	・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 ・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・ 平安時代を代表する物語文学を読み、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して語感を磨き、作品の文学的意義について話し合う活動に粘り強く取り組み、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間や社会に対する自分の考えを広げたり深めたりする中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 古文単語テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	自然・旅情・別離・憂愁のテーマごとに作品に表れている心情を味わおう。(近体詩)
評価期間	2 学期 11～12 月
単元の目標	・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・ 近体詩における言葉の響きやリズム、修辞など表現の特色について理解を深め、書き手の心情を捉えて内容を解釈するとともに、漢語の特色を生かして緊密に構成された韻文の魅力を踏まえて工夫しながら音読する活動に粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 漢文句法テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

令和5年度 3学期 国語科【古典探究＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	歴史物語を多角的な視点で読み比べよう。（『大鏡』雲林院の菩提講、花山院の出家）
評価期間	3学期 1月
単元の目標	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 同じ題材を取り上げた複数の文章を読み比べ、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、登場人物の心情を文章にまとめて発表する活動に粘り強く取り組み、複数の文章の読み比べを通して、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 古文単語テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	現代にまで受け継がれている儒家思想に興味を持ち、人間の「本性」について論述しよう。(思想『孟子』『荀子』)
評価期間	3 学期 1 月～2 月
単元の目標	・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。 ・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、儒家思想の複数の文章を読み比べて、それぞれの主張の共通点や相違点について論述したり発表したりする活動に粘り強く取り組み、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げる中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 漢文句法テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	和歌の修辞や表現に興味を持ち、豊かな情操を培おう。(和歌と歌論『古今和歌集』仮名序一やまと歌、六歌仙の歌、『無名抄』)
評価期間	3 学期 3 月
単元の目標	・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 ・ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	・韻文における、言葉の響きやリズム、修辞などの表現を理解し、そこに表れた先人のものの見方、感じ方、考え方に親しむとともに、和歌を多面的・多角的な視点から評価し、発表する活動に粘り強く取り組み、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・授業プリント・ノートの記述内容 ・古文単語テスト	
思考・判断・表現	・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

地理歴史科【地理探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校地理歴史科

教 科	地理歴史	科 目	地理探究		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	共通
教 科 書	新詳地理探究（帝国書院）				
科目目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2 地理に関わる事象の意味や意義特色・相互の関連を、位置や分布場所・人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用・地域などに着目して、系統地理的地誌的に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。				

令和5年度 1学期 地理歴史科【地理探究】 評価規準

単 元	第1部 第1章 自然環境（地形）
評価時期	1学期 4～5月
単元の目標	・地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・地形気候生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的多角的に考察し、表現する。 ・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解している。	・地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第1部 第1章 自然環境（気候、日本の自然環境、地球環境問題）
評価時期	1学期 5～7月
単元の目標	・地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 ・日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて理解している。	・気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・日本の自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題レポートの記述内容 ・板書ノート、問題集などの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

令和5年度 2学期 地理歴史科【地理探究】 評価規準

単 元	第1部 第2章 資源と産業（農林水産業、エネルギー・鉱産資源）
評価時期	2学期 8月～10月
単元の目標	・資源エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 ・資源エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・資源と産業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて農業の地域区分をとらえるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。また、世界のなかでの日本の農林水産業の課題を理解している。 - 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。	- 世界の農林水産業について、現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め、農業の成立条件などを踏まえて、多角的・多面的に考察し、表現している。 - 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	- 現代世界や日本の農林水産業の現状と課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を追究しようとしている。 - エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	- 第2学期中間考査 - 小テスト - 課題レポートの記述内容	
思考・判断・表現	- 第2学期中間考査 - 小テスト - 課題レポートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	- 課題レポートの記述内容 - 授業ノート、問題集の記述内容 - 振り返りシートの記述内容	

単 元	第1部 第2章 資源と産業（工業、第3次産業）
評価時期	2学期 10月～11月
単元の目標	- 資源エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 - 資源エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 - 資源と産業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどうな工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。 ・経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどうなっているかについて理解している。	・さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどうな工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどうなっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・第3次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第1部 第3章 交通・通信と観光、貿易
評価時期	2学期 12月
単元の目標	・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

令和5年度 3学期 地理歴史科【地理探究】 評価基準

単 元	第1部 第4章 人口、村落・都市
評価時期	3学期 1月～2月
単元の目標	・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性・傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し表現する。 ・人口、村落・都市についてよりよい社会の実現を、視野にそこでみられる課題を主体的に追究する態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解している。 ・村落や都市の立地や発達、形態、変容の仕方にみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解している。	・増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・村落や都市の立地や発達、形態、変容の仕方にみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・課題レポートの記述内容 ・板書ノート、問題集などの記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第1部 第5章 生活文化（衣食住）、民族・宗教
評価時期	3学期 2月～3月
単元の目標	・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解している。	・ 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・ 衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 小テスト ・ 課題レポートの記述内容	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 小テスト ・ 課題レポートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 課題レポートの記述内容 ・ 板書ノート、問題集などの記述内容 ・ 振り返りシートの記述内容	

地理歴史科【日本史探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 地理歴史科

教 科	地理歴史	科 目	日本史探究		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	I・II類型
教 科 書	詳説日本史（山川出版社）				
科目目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				

令和5年度 1学期 地理歴史科【日本史探究】 評価規準

単 元	第I部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの
評価時期	1学期 4月～5月
単元の目標	・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 ・自然環境と人間の生活との関わり、中国大陆・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 ・水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身に付けている。	・黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 ・小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。	・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。 ・日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容	

単 元	第Ⅰ部 原始・古代 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成
評価時期	1学期 5月～7月
単元の目標	・国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 ・ 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。	・ 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。	・ 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。 ・ 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1学期期末考査 ・ 小テスト	
思考・判断・表現	・ 第1学期期末考査 ・ 提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 提出課題の記述内容 ・ 「振り返りシート」の記述内容	

令和5年度 2学期 地理歴史科【日本史探究】 評価規準

単 元	第Ⅰ部 原始・古代 第4章 貴族政治の展開
評価時期	2学期 8月～10月
単元の目標	・ 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 ・ 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 古代の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 - 地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。	- 奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 - 文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。	- 唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。 - 国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	- 第2学期中間考査 - 小テスト	
思考・判断・表現	- 第2学期中間考査 - 提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	- 教師による行動観察 - 提出課題の記述内容 「振り返りシート」の記述内容	

単 元	第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進	
評価時期	2学期 10月～11月	
単元の目標	- 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。 - 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 - 古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 - 平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。	- 武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 - 武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。	- 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。 - 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期期末考査 ・小テスト
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・提出課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容

単 元	第Ⅱ部 中世 第6章 武家政権の成立	
評価時期	2学期 11月～12月	
単元の目標	・ 武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。 ・ 公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 中世の国家・社会の展開について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 ・ 宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。	・ 武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 ・ 鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・ 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。 ・ 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 小テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ 提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 提出課題の記述内容 ・ 「振り返りシート」の記述内容	

令和5年度 3学期 地理歴史科【日本史探究】 評価規準

単 元	第Ⅱ部 中世 第7章 武家社会の成長	
評価時期	3学期 1月～2月	
単元の目標	・ 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 ・ 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 中世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 ・ 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。	・ 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。	・ 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。 ・ 15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 小テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 提出課題の記述内容 ・ 「振り返りシート」の記述内容	

単 元	第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け	
評価時期	3学期 3月	
単元の目標	・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 ・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 ・桃山文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解している。	・織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。 ・桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容	

地理歴史科【世界史探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 地理歴史科

教 科	地理歴史	科 目	世界史探究		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	I・II類型
教 科 書	詳説世界史（山川出版社）				
科目目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 1 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				

令和5年度 1学期 地理歴史科【世界史探究】 評価規準

単 元	世界史へのまなざし1・2 第I部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質
評価期間	1学期 4月～5月
単元の目標	・ 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 ・ 古代文化に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多角的に考察し表現する。 ・ 諸地域の歴史的特質について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 ・オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。	・日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容	

単 元	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界
評価期間	1学期 5月～7月
単元の目標	・秦・漢と遊牧国家、唐と近隣国家の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関する諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・唐と近隣諸国の動向について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。 ・ 隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。	・ 風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 「女史箴図」などの図像資料や『顔氏家訓』などの資料をもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・ 中央ユーラシアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・ 東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1学期期末考査 ・ 小テスト	
思考・判断・表現	・ 第1学期期末考査 ・ 提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 提出課題の記述内容 ・ 「振り返りシート」の記述内容	

令和5年度 2学期 地理歴史科【世界史探究】 評価規準

単 元	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成
評価期間	2学期 8月～10月
単元の目標	・ 仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。 ・ 南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 西アジアと地中海周辺の歴史について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 ・アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。	・仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていた背景を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し、表現している。	・東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容	

単 元	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成
評価期間	2学期 10月～11月
単元の目標	・西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 ・西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・キリスト教とイスラームの成立を多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 ・西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。	・イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容	

単 元	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向
評価期間	2学期 11月～12月
単元の目標	・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播を基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを経済的に理解する。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 ・アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒（ムスリム）の連帯が維持されたことを理解している。	・『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し、表現している。	・イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容	

令和5年度 3学期 地理歴史科【世界史探究】 評価規準

単 元	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開
評価期間	3学期 1月～2月
単元の目標	・ヨーロッパ封建社会とその展開を基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを経済的に理解する。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、ヨーロッパの社会や文化の特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ヨーロッパ封建社会について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。 ・ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。	・中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し、表現している。	・東ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・中世の西ヨーロッパの文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容	

単 元	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国
評価期間	3学期 3月
単元の目標	・宋の社会とモンゴル帝国の拡大を基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを経済的に理解する。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・10～12 世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。 ・モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。	・「清明上河図」などの図像資料や莊綽『鷄肋編』などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引きおこした変化を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し、表現している。	・10～12 世紀の東アジアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容	

公民科【公共】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 公民科

教 科	公民	科 目	公共		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	共通
教 科 書	高等学校 公共（帝国書院）				
科目目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2 現代の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 3 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。				

令和5年度 1学期 公民科【公共】 評価規準

単 元	第1部 私たちがつくる社会 第1章 社会の中の私たち
評価時期	1学期 4月～5月
単元の目標	・人間は自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解する。 ・現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人間は自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出して、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第1部 私たちがつくる社会 第2章 思想から学ぶべきもの
評価時期	1学期 5月～6月
単元の目標	・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ・自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・公共的な空間における人間としての在り方生き方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、上に示す考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。	・公共的な空間における人間としての在り方生き方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第1部 私たちがつくる社会 第3章 私たちの社会の基本原則
評価時期	1学期 6月～7月
単元の目標	・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 ・公共的な空間における基本的原理について、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・公共的な空間における基本的原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。	・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。	・公共的な空間における基本的原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

令和5年度 2学期 公民科【公共】 評価規準

単 元	第2部 社会のしくみと諸課題 第1章 私たちと法
評価時期	2学期 8月～9月
単元の目標	・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 ・法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 ・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。	法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	- 第2学期中間考査 - 小テスト	
思考・判断・表現	- 第2学期中間考査 - 提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	- 教師による行動観察 - 提出課題の記述内容 - 振り返りシートの記述内容	

単 元	第2部 社会のしくみと諸課題 第2章 私たちと政治（第1節）
評価時期	2学期 9月～10月
単元の目標	- 現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 - 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 - 公共的な空間に生き国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。	・法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとする。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第2部 社会のしくみと諸課題 第2章 私たちと政治（第2節）
評価時期	2学期 10月～11月
単元の目標	・現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 ・公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。	法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとする。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	- 第2学期期末考査 - 小テスト	
思考・判断・表現	- 第2学期期末考査 - 提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	- 教師による行動観察 - 提出課題の記述内容 - 振り返りシートの記述内容	

単 元	第2部 社会のしくみと諸課題 第3章 私たちと経済（第1節）
評価時期	2学期 11月～12月
単元の目標	- 公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 - 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 - 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	・法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

令和5年度 3学期 公民科【公共】 評価規準

単 元	第2部 社会のしくみと諸課題 第3章 私たちと経済（第2・3節）	
評価時期	3学期 1月～2月	
単元の目標	・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 ・市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	・法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・少子高齢化における社会保障の充実・安定化、経済のグローバル化などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

単 元	第3部 持続可能な社会の実現に向けて	
評価時期	3学期 2月～3月	
単元の目標	・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだす。 ・課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 ・現代の諸課題を探究する活動に積極的に取り組み、持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。	・課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。	・幸福、正義、構成などに着目して、現代の諸課題を探究する活動に積極的に取り組み、持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・提出課題の記述内容	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・提出課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・提出課題の記述内容 ・振り返りシートの記述内容	

数学科【数学Ⅱ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	数学Ⅱ		
単 位 数	3	学 年	2	類 型	Ⅰ・Ⅱ 類 型
教 科 書	数学Ⅱ（数研出版）				
科目目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

令和5年度 1学期 数学科【数学Ⅱ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	第3章 図形と方程式		
評価期間	1学期 4月		
単元の目標	・図形と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、図形と方程式を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。（知識・技能） ・図形と方程式を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、図形と方程式を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。（思考・判断・表現） ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。（主体的）		
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・座標を用いて、内分する点・外分する点や、座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 ・簡単な軌跡を求めたり、不等式の表す領域を求めたりすることができる。		・図形を、方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察できる。 ・数量と図形との関係に着目し、軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すことができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方

単 元	第 4 章 三角関数		
評価期間	1 学期 5 ～ 7 月		
単元の目標	・ 三角関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、三角関数を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 三角関数を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、三角関数を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・角の概念を一般角まで拡張し、弧度法による角度の表し方について理解できる。三角関数の値の変化、グラフの特徴、相互関係、基本的な定理や公式を理解できる。	・三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、式とグラフの関係について多面的に考察し、加法定理から新たな性質を導くことができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。	
観 点		評 価 内 容	
知識・技能		・第 1 学期期末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト	
思考・判断・表現		・第 1 学期期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度		・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方	

令和5年度 2学期 数学科【数学Ⅱ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	第5章 指数関数と対数関数		
評価期間	2学期 8～10月		
単元の目標	・指数関数・対数関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、指数関数・対数関数を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・指数関数・対数関数を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、指数関数・対数関数を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・指数法則を用いて数や式の計算ができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴が理解できる。対数の基本的な性質について理解し、対数関数の値の変化やグラフの特徴が理解できる。	・指数と対数を相互に関連付けて考察できる。指数関数・対数関数の式とグラフについて、多面的に考察できる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期中間考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方

単 元	第6章 微分法と積分法		
評価期間	2学期 10～12月		
単元の目標	・微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、微分法と積分法を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・微分法と積分法を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、微分法と積分法を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)		

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・微分係数や導関数の意味を理解できる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフを書くことができる。不定積分・定積分の意味を理解するとともに値も求めることができる。	・関数とその導関数との関係について考察できる。微分と積分の関係に着目し積分の考えを用いてさまざまな図形の面積を求めることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点		評 価 内 容
知識・技能		・第2学期期末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト
思考・判断・表現		・第2学期期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度		・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方

令和5年度 3学期 数学科【数学Ⅱ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	第6章 微分法と積分法	
評価期間	3学期 1～2月	
単元の目標	・微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、微分法と積分法を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・微分法と積分法を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、微分法と積分法を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・微分係数や導関数の意味を理解できる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフを書くことができる。不定積分・定積分の意味を理解するとともに値も求めることができる。	・関数とその導関数との関係について考察できる。微分と積分の関係に着目し積分の考えを用いてさまざまな図形の面積を求めることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 「深める」レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 「深める」レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方

数学科【数学Ⅱ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	数学Ⅱ		
単 位 数	3	学 年	2	類 型	Ⅲ 類 型
教 科 書	数学Ⅱ（数研出版）				
科目目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

令和5年度 1学期 数学科【数学Ⅱ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	第3章 図形と方程式	
評価期間	1学期 4月	
単元の目標	・図形と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、図形と方程式を用いて事象を数式化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。（知識・技能） ・図形と方程式を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、図形と方程式を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。（思考・判断・表現） ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。（主体的）	
知識・技能		思考・判断・表現
・座標を用いて、内分する点・外分する点や、座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 ・簡単な軌跡を求めたり、不等式の表す領域を求めたりすることができる。		・図形を、方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察できる。 ・数量と図形との関係に着目し、軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すことができる。
		主体的に学習に取り組む態度
		・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方

単 元	第 4 章 三角関数		
評価期間	1 学期 5 ～ 6 月		
単元の目標	・ 三角関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、三角関数を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 三角関数を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、三角関数を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・角の概念を一般角まで拡張し、弧度法による角度の表し方について理解できる。三角関数の値の変化、グラフの特徴、相互関係、基本的な定理や公式を理解できる。	・三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、式とグラフの関係について多面的に考察し、加法定理から新たな性質を導くことができる。	・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。	
観 点		評 価 内 容	
知識・技能		・ 第 1 学期期末考査 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト	
思考・判断・表現		・ 第 1 学期期末考査 ・ 「深める」 レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度		・ 教師による行動観察 ・ 「深める」 レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方	

単 元	第 5 章 指数関数と対数関数		
評価期間	1 学期 6 ～ 7 月		
単元の目標	・ 指数関数・対数関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、指数関数・対数関数を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 指数関数・対数関数を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、指数関数・対数関数を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 指数法則を用いて数や式の計算ができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴が理解できる。対数の基本的な性質について理解し、対数関数の値の変化やグラフの特徴が理解できる。	・ 指数と対数を相互に関連付けて考察できる。指数関数・対数関数の式とグラフについて、多面的に考察できる。	・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。	
観 点		評 価 内 容	
知識・技能		・ 第 1 学期期末考查 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト	
思考・判断・表現		・ 第 1 学期期末考查 ・ 「深める」レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度		・ 教師による行動観察 ・ 「深める」レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方	

令和 5 年度 2 学期 数学科【数学Ⅱ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	第 5 章 指数関数と対数関数		
評価期間	2 学期 8 ～ 9 月		
単元の目標	・ 指数関数・対数関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、指数関数・対数関数を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 指数関数・対数関数を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、指数関数・対数関数を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)		

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 指数法則を用いて数や式の計算ができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴が理解できる。対数の基本的な性質について理解し、対数関数の値の変化やグラフの特徴が理解できる。	・ 指数と対数を相互に関連付けて考察できる。指数関数・対数関数の式とグラフについて、多面的に考察できる。	・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点		評 価 内 容
知識・技能		・ 第2学期中間考査 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト
思考・判断・表現		・ 第2学期中間考査 ・ 「深める」レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度		・ 教師による行動観察 ・ 「深める」レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方

単 元	第6章 微分法と積分法	
評価期間	2学期 9～11月	
単元の目標	・ 微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、微分法と積分法を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 微分法と積分法を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、微分法と積分法を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 微分係数や導関数の意味を理解できる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフを書くことができる。不定積分・定積分の意味を理解するとともに値も求めることができる。	・ 関数とその導関数との関係について考察できる。微分と積分の関係に着目し積分の考えを用いてさまざまな図形の面積を求めることができる。	・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ 「深める」レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 「深める」レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方

数学【数学B＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	数学B		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	Ⅰ・Ⅱ 類 型
教 科 書	数学B（数研出版）				
科目目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

令和5年度 1学期 数学【数学B＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	第1章 数列		
評価期間	1学期 6月		
単元の目標	・数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。（知識・技能） ・数列を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数列を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。（思考・判断・表現） ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。（主体的）		
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・いろいろな数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。漸化式・数学的帰納法について理解できる。		・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察できる。数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察できる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期期末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方

令和5年度 2学期 数学【数学B＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	第 1 章 数列		
評価期間	2 学期 9 月		
単元の目標	・ 数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 (知識・技能) ・ 数列を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数列を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ いろいろな数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。漸化式・数学的帰納法について理解できる。	・ 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察できる。数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察できる。	・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。	
観 点		評 価 内 容	
知識・技能		・ 第 2 学期中間考査 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト	
思考・判断・表現		・ 第 2 学期中間考査 ・ 「深める」レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度		・ 教師による行動観察 ・ 「深める」レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方	

令和5年度 3学期 数学【数学B＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	第2章 統計的な推測	
評価期間	3学期 2～3月	
単元の目標	・統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、統計的な推測を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・統計的な推測を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、統計的な推測を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・標本調査の考え方や確率変数と確率分布について理解できる。二項分布と正規分布の性質や特徴について理解できる。正規分布を用いた区間推定及び仮説検定について理解できる。	・確率分布や標本調査の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察できる。母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察できる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点		評 価 内 容
知識・技能		・学年末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト
思考・判断・表現		・学年末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度		・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方

数学科【数学B＜Ⅲ類型＞】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	数学B		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	Ⅲ 類 型
教 科 書	数学B（数研出版）				
科目目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

令和5年度 1学期 数学科【数学B＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	第1章 数列	
評価期間	1学期 6月	
単元の目標	・数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。（知識・技能） ・数列を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数列を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。（思考・判断・表現） ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。（主体的）	
知識・技能		思考・判断・表現
・いろいろな数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。漸化式・数学的帰納法について理解できる。		・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察できる。数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察できる。
		主体的に学習に取り組む態度
		・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期期末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方

令和5年度 2学期 数学科【数学B＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	第 2 章 統計的な推測		
評価期間	2 学期 11～12 月		
単元の目標	・統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、統計的な推測を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・統計的な推測を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、統計的な推測を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・標本調査の考え方や確率変数と確率分布について理解できる。二項分布と正規分布の性質や特徴について理解できる。正規分布を用いた区間推定及び仮説検定について理解できる。	・確率分布や標本調査の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察できる。母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察できる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。	
観 点		評 価 内 容	
知識・技能		・第 2 学期期末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト	
思考・判断・表現		・第 2 学期期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度		・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方	

数学科【数学C】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	数学C		
単 位 数	1	学 年	2	類 型	Ⅲ 類 型
教 科 書	数学C（数研出版）				
科目目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

令和5年度 3学期 数学科【数学C】 評価規準

単 元	第1章 平面上のベクトル				
評価期間	3学期 12～1月				
単元の目標	・平面上のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、平面上のベクトルを用いて事象を数理化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。（知識・技能） ・平面上のベクトルを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、平面上のベクトルを用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。（思考・判断・表現） ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。（主体的）				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解できる。ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解できる。		・実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察できる。ベクトルの性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりできる。		・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 「深める」 レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 「深める」 レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方

単 元	第 2 章 空間のベクトル		
評価期間	3 学期 1 ～ 2 月		
単元の目標	・ 空間のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、空間ベクトルを用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 空間のベクトルを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、空間のベクトルを用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張することが理解できる。	・ ベクトルの性質などを用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりできる。	・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。	
観 点		評 価 内 容	
知識・技能		・ 学年末考査 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト	
思考・判断・表現		・ 学年末考査 ・ 「深める」レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度		・ 教師による行動観察 ・ 「深める」レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方	

単 元	第 3 章 複素数平面	
評価期間	3 学期 2 ～ 3 月	
単元の目標	・ 複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、複素数平面を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 複素数平面を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、複素数平面を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解できる。	・複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察できる。	・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 「深める」レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 「深める」レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方	

理科【物理基礎】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 理科

教 科	理科	科 目	物理基礎		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	物理基礎（数研出版）				
科目目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 - 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 - 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 - 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

令和5年度 1学期 理科【物理基礎】 評価規準

単 元	運動の表し方				
評価時期	1学期 4月				
単元の目標	- 物体の運動について、運動の表し方、運動の法則、仕事と力学的エネルギーを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 - 物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方、運動の法則、仕事と力学的エネルギーについて、規則性や関係性を見いだして表現する。 - 物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
運動の表し方について、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		運動の表し方について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方について、規則性や関係性を見いだして表現している。		運動の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・学習帳の考察
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

単 元	運動の法則	
評価時期	1 学期 4 ～ 5 月	
単元の目標	・ 物体の運動について、運動の表し方、運動の法則、仕事と力学的エネルギーを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ 物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方、運動の法則、仕事と力学的エネルギーについて、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ 物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 運動の法則について、力のつり合い、運動の法則、液体や気体から受ける力についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・ 運動の法則について、観察、実験などを通して探究し、運動の法則について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・ 運動の法則に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 1 学期中間考査 ・ 第 1 学期期末考査 ・ 観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・ 第 1 学期中間考査 ・ 第 1 学期期末考査 ・ 学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察	

単 元	仕事と力学的エネルギー	
評価時期	1 学期 5～6 月	
単元の目標	・物体の運動について、運動の表し方、運動の法則、仕事と力学的エネルギーを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方、運動の法則、仕事と力学的エネルギーについて、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・仕事と力学的エネルギーについて、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・仕事と力学的エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、仕事と力学的エネルギーについて、規則性や関係性を見いだして表現している。	・仕事と力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	熱とエネルギー	
評価時期	1 学期 6 月	
単元の目標	・熱について、熱とエネルギーを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・熱について、観察、実験などを通して探究し、熱とエネルギーについて、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・熱に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・熱とエネルギーについて、熱と熱量、熱と仕事の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・熱とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、熱とエネルギーについて、規則性や関係性を見いだして表現している。	・熱とエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・第1学期末考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

令和5年度 2学期 理科【物理基礎】 評価規準

単 元	波の性質	
評価時期	2学期 7月	
単元の目標	・波について、波の性質、音を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・波について、観察、実験などを通して探究し、波の性質、音について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・波の性質について、波と媒質の運動、波の伝わり方の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・波の性質について、観察、実験などを通して探究し、波の性質について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・波の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・学習帳の考察
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

単 元	音	
評価時期	2 学期 7 月	
単元の目標	・ 波について、波の性質、音を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ 波について、観察、実験などを通して探究し、波の性質、音について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ 波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 音について、音の性質、振動と共振の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・ 音について、観察、実験などを通して探究し、音について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・ 音に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 2 学期中間考査 ・ 観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・ 第 2 学期中間考査 ・ 学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察	

単 元	物質と電気	
評価時期	2 学期 8～9 月	
単元の目標	・電気について、物質と電気、磁場と交流を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・電気について、観察、実験などを通して探究し、物質と電気、磁場と交流について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・物質と電気について、電気の性質、電流と電気抵抗、電気とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・物質と電気について、観察、実験などを通して探究し、物質と電気について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・物質と電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	磁場と交流	
評価時期	2 学期 9 月	
単元の目標	・電気について、物質と電気、磁場と交流を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・電気について、観察、実験などを通して探究し、物質と電気、磁場と交流について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・磁場と交流について、電流と磁場、交流と電磁波の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・磁場と交流について、観察、実験などを通して探究し、物磁場と交流について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・磁場と交流に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	エネルギーの利用	
評価時期	2学期 10月	
単元の目標	・物理学と社会について、エネルギーの利用、物理学が拓く世界を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・物理学と社会について、観察、実験などを通して探究し、エネルギーの利用、物理学が拓く世界について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・物理学と社会に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・エネルギーとその利用を日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーとその利用の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・エネルギーとその利用について、観察、実験などを通して探究し、エネルギーとその利用における規則性や関係性を見いだして表現している。	・エネルギーとその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・学習帳の考察
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

単 元	物理学が拓く世界		
評価時期	2 学期 10 月		
単元の目標	・物理学と社会について、エネルギーの利用、物理学が拓く世界を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・物理学と社会について、観察、実験などを通して探究し、エネルギーの利用、物理学が拓く世界について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・物理学と社会に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・日常生活や社会と関連付けながら、物理学が拓く世界についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・物理学が拓く世界について、観察、実験などを通して探究し、この科目で学んだ事柄が科学技術と結びついていることを表現している。	・物理学が拓く世界に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・第 2 学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録		
思考・判断・表現	・第 2 学期中間考査 ・学習帳の考察		
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察		

理科【物理】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 理科

教 科	理科	科 目	物理		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	物理（数研出版）				
科目目標	物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な物事・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 3 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

令和5年度 2学期 理科【物理】 評価規準

単 元	平面内の運動		
評価時期	2 学期 10 月		
単元の目標	・ 力と運動について、平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ 力の運動について、観察、実験などを通して探究し、平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ 力の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 平面内の運動について、平面運動の速度・加速度、落体の運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・ 平面内の運動について、観察、実験などを通して探究し、平面内の運動について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・ 平面内の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 第 2 学期期末考査 ・ 観察・実験の基本操作、記録		
思考・判断・表現	・ 第 2 学期期末考査 ・ 学習帳の考察		
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察		

単 元	剛体	
評価時期	2 学期 10～11 月	
単元の目標	・力と運動について、平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・力の運動について、観察、実験などを通して探究し、平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・力の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能
・剛体について、剛体にはたらく力のつり合い、剛体にはたらく力の合力と重心についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・剛体について、観察、実験などを通して探究し、剛体について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・剛体について、平面運動の速度・加速度、落体の運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	運動量の保存	
評価時期	2 学期 11 月	
単元の目標	・力と運動について、平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・力の運動について、観察、実験などを通して探究し、平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・力の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動量の保存について、運動量と力積、運動量保存則、反発係数についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・運動量の保存について、観察、実験などを通して探究し、運動量の保存について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・運動量の保存に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

令和5年度 3学期 理科【物理】 評価規準

単 元	円運動と単振動	
評価時期	3学期 12月	
単元の目標	・力と運動について、平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・力の運動について、観察、実験などを通して探究し、平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と万有引力について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・力の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・円運動と単振動について、等速円運動、慣性力、単振動、万有引力の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・円運動と単振動について、観察、実験などを通して探究し、円運動と単振動について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・円運動と単振動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 学習帳の考察
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察

単 元	気体のエネルギーと状態変化		
評価時期	3 学期 1 月		
単元の目標	・ 熱と気体について、気体のエネルギーと状態変化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ 熱と気体について、観察、実験などを通して探究し、気体のエネルギーと状態変化について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ 熱と気体に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 気体のエネルギーと状態変化について、気体の法則、気体分子の運動、気体の状態変化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・ 気体のエネルギーと状態変化について、観察、実験などを通して探究し、気体のエネルギーと状態変化について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・ 気体のエネルギーと状態変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 観察・実験の基本操作、記録		
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 学習帳の考察		
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察		

単 元	波の伝わり方	
評価時期	3 学期 1 ～ 2 月	
単元の目標	・波について、波の伝わり方、音の伝わり方、光を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・波について、観察、実験などを通して探究し、波の伝わり方、音の伝わり方、光について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・波の伝わり方について、波と媒質の運動、正弦波、波の伝わり方の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・波の伝わり方について、観察、実験などを通して探究し、波の伝わり方について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・波の伝わり方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	音の伝わり方	
評価時期	3 学期 2 月	
単元の目標	・波について、波の伝わり方、音の伝わり方、光を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・波について、観察、実験などを通して探究し、波の伝わり方、音の伝わり方、光について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音の伝わり方について、波音の伝わり方、ドップラー効果の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・音の伝わり方について、観察、実験などを通して探究し、音の伝わり方について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・音の伝わり方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・学習帳の考査	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	光	
評価時期	3 学期 2～3 月	
単元の目標	・波について、波の伝わり方、音の伝わり方、光を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・波について、観察、実験などを通して探究し、波の伝わり方、音の伝わり方、光について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・光について、光の性質、レンズと鏡、光の干渉と回折の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・光について、観察、実験などを通して探究し、光について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・光に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 学習帳の考察
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察

理科【化学】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校

理科

教 科	理科	科 目	化学		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	化学（数研出版）				
科目目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

令和5年度 1学期 理科【化学】 評価規準

単 元	第1編 物質の状態 第1章 固体の構造	
評価時期	1学期 4月	
単元の目標	・固体の構造について、結晶格子の概念及び結晶の構造を理解する。 ・固体の構造について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・固体の構造に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・固体の構造について、イオン結晶、金属結晶、共有結合結晶及び分子結晶の構成粒子の配列やアモルファスなどの基本的な概念や原理・法則などを理解している。	・固体の構造について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・固体の構造に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・提出物の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	第1編 物質の状態 第2章 物質の状態変化		
評価時期	1学期 4月		
単元の目標	・物質の状態変化について、沸点、融点と分子間力や化学結合との関連を理解するとともに、状態間の平衡と温度や圧力の関係について理解する。 ・物質の状態変化について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・物質の状態変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・物質の状態変化について、沸点、融点と分子間力や化学結合との関連、状態間の平衡と温度や圧力の関係などの基本的な概念や原理・法則などを理解している。		・物質の状態変化について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・物質の状態変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点		評 価 内 容	
知識・技能		・第1学期中間考査 ・小テスト	
思考・判断・表現		・第1学期中間考査 ・提出物の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度		・提出物の記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	第1編 物質の状態 第3章 気体		
評価時期	1学期 5月		
単元の目標	・気体の性質について、気体の体積と圧力や温度との関係を理解する。 ・気体の性質について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・気体の性質に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・気体について、理想気体の体積と圧力や絶対温度の関係、気体の状態方程式及び実在気体と理想気体の違いなどの基本的な概念や原理・法則などを理解している。		・気体について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・気体に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・小テスト
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・提出物の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・教師による行動観察

単 元	第1編 物質の状態 第4章 溶液	
評価時期	1学期 6月	
単元の目標	・溶液とその性質について、溶媒と溶液の性質の違いを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・溶液とその性質について、観察、実験などを通して探究し、物質の状態における規則性や関係性を見いだして表現する。 ・溶液とその性質に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・溶液について、固体や気体の溶解度、蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧、コロイドの性質などの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・溶液について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	・溶液に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・実験ノートの考察・分析	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー	
評価時期	1学期 7月	
単元の目標	・化学反応とエネルギーについて、ヘスの法則や結合エネルギーを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する。 ・化学反応とエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・化学反応とエネルギーについて、ヘスの法則やエンタルピー、エントロピー、結合エネルギーなどの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	・化学反応とエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・実験ノートの考察・分析	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

令和5年度 2学期 理科【化学】 評価規準

単 元	第2編 物質の変化 第2章 電池と電気分解	
評価時期	2学期 7月	
単元の目標	・電池と電気分解について、酸化還元反応と関連付けて理解する。 ・電池と電気分解について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・電池と電気分解に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・電池と電気分解について、酸化還元反応との関連やファラデーの法則などの基本的な概念や原理・法則などを理解している。	・電池と電気分解について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・電池と電気分解に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・提出物の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	第2編 物質の変化 第3章 化学反応の速さとしくみ		
評価時期	2学期 8月		
単元の目標	・ 化学反応の速さとしくみについて、反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。 ・ 化学反応の速さとしくみについて、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ 化学反応の速さとしくみに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 化学反応の速さとしくみについて、反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因に関する基本的な概念や原理・法則などを理解している。	・ 化学反応の速さとしくみについて、規則性や関係性を見いだして表現している。	・ 化学反応の速さとしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 第2学期中間考査 ・ 小テスト		
思考・判断・表現	・ 第2学期中間考査 ・ 提出物の記述内容		
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 教師による行動観察		

単 元	第 2 編 物質の変化 第 4 章 化学平衡		
評価時期	2 学期 9 月		
単元の目標	・ 化学平衡について、可逆反応、化学平衡、化学平衡の移動及び電離平衡を理解する。 ・ 化学平衡について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ 化学平衡に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 化学平衡について、可逆反応、化学平衡、化学平衡の移動、電離平衡に関する基本的な概念や原理・法則などを理解している。	・ 化学平衡について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・ 化学平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 第 2 学期中間考査 ・ 小テスト		
思考・判断・表現	・ 第 2 学期中間考査 ・ 提出物の記述内容		
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 教師による行動観察		

単 元	第3編 無機物質 第1章 非金属元素		
評価時期	2学期 10月		
単元の目標	- 非金属元素について、その性質が周期表に基づいて整理できることを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 - 非金属元素について、観察、実験などを通して探究し、無機物質における規則性や関係性を見いだして表現する。 - 非金属元素に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・非金属元素について、単体や化合物の性質と周期表に関する基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・非金属元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	・非金属元素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 ・小テスト
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・実験ノートの考察・分析
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

単 元	第3編 無機物質 第2章 金属元素(Ⅰ)－典型元素－	
評価時期	2学期 11月	
単元の目標	・ 典型金属元素について、その性質が周期表に基づいて整理できることを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ 典型金属元素について、観察、実験などを通して探究し、無機物質における規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ 典型金属元素に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 典型金属元素について、単体や化合物の性質と周期表に関する基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・ 典型金属元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	・ 典型金属元素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 観察・実験の基本操作、記録 ・ 小テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ 実験ノートの考察・分析	
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察	

令和5年度 3学期 理科【化学】 評価規準

単 元	第3編 無機物質 第2章 金属元素(Ⅱ)－遷移元素－	
評価時期	3学期 12月	
単元の目標	・遷移元素について、単体と化合物の性質を理解する。 ・遷移元素について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・遷移元素に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・遷移元素について、単体と化合物の性質や金属イオンの分離に関する基本的な概念や原理・法則などを理解している。	・遷移元素について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・遷移元素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考查 ・小テスト	
思考・判断・表現	・第2学期期末考查 ・提出物の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析	
評価時期	3学期 1月	
単元の目標	・有機化合物の分類と分析について、有機化合物の特徴や分析方法を理解する。 ・有機化合物の分類と分析について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・有機化合物の分類と分析に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・有機化合物の分類と分析について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	・有機化合物の分類と分析について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・有機化合物の分類と分析に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 小テスト
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 提出物の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 教師による行動観察

単 元	第 4 編 有機化合物 第 2 章 脂肪族炭化水素		
評価時期	3 学期 2 月		
単元の目標	・ 脂肪族炭化水素について、性質や反応を構造と関連付けてを理解する。 ・ 脂肪族炭化水素について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ 脂肪族炭化水素に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 脂肪族炭化水素性質や反応について、構造と関連付けながら基本的な概念や原理・法則などを理解している。	・ 脂肪族炭化水素について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・ 脂肪族炭化水素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 小テスト		
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 提出物の記述内容		
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 教師による行動観察		

単 元	第 4 編 有機化合物 第 3 章 アルコールと関連化合物		
評価時期	3 学期 3 月		
単元の目標	・ アルコールと関連化合物について、構造、性質及び反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ アルコールと関連化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物における規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ アルコールと関連化合物に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。		

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・アルコールと関連化合物について、代表的な官能基をもつ脂肪族化合物の性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・アルコールと関連化合物について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	・アルコールと関連化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 観察・実験の基本操作、記録 ・ 小テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 実験ノートの考察・分析	
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察	

理科【生物】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 理科

教 科	理科	科 目	生物		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	生物（数研出版）				
科目目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 3 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

令和5年度 2学期 理科【生物】 評価規準

単 元	第1章 生物の進化				
評価時期	2学期 10月～11月				
単元の目標	・生物の進化について、生命の起源と生物進化の道筋について学び、生物進化がどのようにして起こるのかを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 ・生物の進化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・生物の進化について、生命の起源と生物進化の道筋、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		・生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。		・生物の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期期末考査 ・小テスト ・観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・実験ノートの考察
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

令和5年度 3学期 理科【生物】 評価規準

単 元	第2章 細胞と分子	
評価時期	3学期 12月～1月	
単元の目標	・細胞と分子について、細胞小器官やタンパク質の働きを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・細胞と分子について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子とそのはたらきの特徴を見いだして表現する。 ・細胞と分子に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・細胞と分子について、細胞小器官やタンパク質の働きを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・細胞と分子について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子とそのはたらきの特徴を見いだして表現している。	・細胞と分子について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子とそのはたらきの特徴を見いだして表現している。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・小テスト ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・実験ノートの考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	第3章 代謝	
評価時期	3学期 2月～3月	
単元の目標	・代謝について、生体内で起こる化学反応とエネルギーを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・代謝について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 ・代謝に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・代謝について、生体内で起こる化学反応とエネルギーを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・代謝について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	・代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・小テスト ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・実験ノート of 考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

理科【地学基礎】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 理科

教 科	理科	科 目	地学基礎		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	I・II類型
教 科 書	地学基礎（数研出版）				
科目目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 - 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 - 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 - 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

令和5年度 1学期 理科【地学基礎】 評価規準

単 元	第1編 活動する地球				
評価時期	1学期 4～7月				
単元の目標	- 地球のすがたについて、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 - 地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現する。 - 地球のすがたに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
惑星としての地球について、地球の形と大きさ、地球内部の層構造の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		惑星としての地球について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。		惑星としての地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・学習帳の考察
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

令和5年度 2学期 理科【地学基礎】 評価規準

単 元	第2編 移り変わる地球	
評価時期	2学期 7～9月	
単元の目標	・地球のすがたについて、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・地球のすがたに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・活動する地球について、プレート運動、火山活動と地震の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・活動する地球について、観察、実験などを通して探究し、活動する地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・活動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	第3編 大気と海洋	
評価時期	2学期 9月～11月	
単元の目標	・地球のすがたについて、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・地球のすがたに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

単 元	第4編 地球の環境	
評価時期	2学期 11月～12月	
単元の目標	・変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、地球の変遷、地球の環境を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。また、自然環境の保全の重要性について認識する。 ・変動する地球について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・変動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地球の環境について、地球環境の科学、日本の自然環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・地球環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・地球の環境について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・学習帳の考察	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察	

令和5年度 3学期 理科【地学基礎】 評価規準

単 元	第5編 太陽系と宇宙		
評価時期	3学期 1月～3月		
単元の目標	・変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、地球の変遷、地球の環境を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。また、自然環境の保全の重要性について認識する。 ・変動する地球について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・変動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・地球の環境について、地球環境の科学、日本の自然環境の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・地球環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・地球の環境について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 学習帳の考察
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察

保健体育科【体育】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 保健体育科

教 科	保健体育	科 目	体育		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	共通
教 科 書	新高等保健体育（大修館）				
科目目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 3 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。				

令和5年度 1学期 保健体育科【体育】 評価規準

単 元	体づくり運動
評価時期	1学期 4月
単元の目標	・次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 (1) 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わることができるようにする。 (2) 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・振り返りシートの記述内容 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	球技 選択Ⅰ（ハンドボール・バスケットボール・バレーボール・ソフトボール）
評価時期	1学期 5～7月
単元の目標	・次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 (1) ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 (2) ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 (3) ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・教師による行動観察 ・単元小テスト ・技能テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	体育理論	
評価時期	1 学期 7 月（3 時間）	
単元の目標	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができるようにする。 (1) 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることについて、理解することができるようにする。 (2) 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることについて、理解することができるようにする。 (3) 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかることについて、理解することができるようにする。 (4) 運動やスポーツを行う際には、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることについて、理解することができるようにする。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・教師による行動観察 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

令和5年度 2学期 保健体育科【体育】 評価規準

単 元	体づくり運動	
評価時期	2学期 8月～9月	
単元の目標	・次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 (1) 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 (2) 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・振り返りシートの記述内容 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	球技 選択Ⅱ（バドミントン・テニス・卓球）	
評価時期	2学期 9月～11月	
単元の目標	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ○技能 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをして、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・教師による行動観察 ・単元小テスト ・技能テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	体育理論	
評価時期	2 学期 10 月（3 時間）	
単元の目標	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができるようにする。 (1) 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることについて、理解することができるようにする。 (2) 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることについて、理解することができるようにする。 (3) 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかることについて、理解することができるようにする。 (4) 運動やスポーツを行う際には、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることについて、理解することができるようにする。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・教師による行動観察 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	陸上競技（長距離走）	
評価時期	2 学期 11 月～12 月	
単元の目標	・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができるようにする。 ・生涯にわたって運動を継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ○技能 ・長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができる。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・教師による行動観察 ・単元小テスト ・技能テスト（記録）	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

令和 5 年度 3 学期 保健体育科【体育】 評価規準

単 元	球技 選択Ⅲ (サッカー、バスケットボール、バレーボール、テニス、バドミントン、卓球)
評価時期	3 学期 1 ～ 3 月

単元の目標	・ 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 (1) ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 (2) ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 ・ 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・ 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ○技能 ・ ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ・ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。	・ 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	・ 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 教師による行動観察 ・ 単元小テスト ・ 技能テスト	
思考・判断・表現	・ 教師による行動観察 ・ レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 振り返りシートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

保健体育科【保健】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 保健体育科

教 科	保健体育	科 目	保健		
単 位 数	1	学 年	2	類 型	共通
教 科 書	新高等保健体育（大修館）				
科目目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 2 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 3 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				

令和5年度 1学期 保健体育科【保健】 評価規準

単 元	生涯を通じる健康（生涯の各段階における健康）				
評価時期	1学期 4月～5月				
単元の目標	・生涯の各段階における健康について、理解することができるようにする。 ・生涯の各段階における健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。		・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。		・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期期末考査 ・課題プリントの記述内容
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・ワークシートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・授業ノートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	生涯を通じる健康（労働と健康）		
評価時期	1 学期 6 月～7 月		
単元の目標	・労働と健康について、理解することができるようにする。 ・労働と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ・労働と健康について、自他や社会の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。	・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・第1学期期末考査 ・課題プリントの記述内容 ・実技実習（心肺蘇生）		
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・ワークシートの記述内容		
主体的に学習に取り組む態度	・授業ノートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察		

令和5年度 2学期 保健体育科【保健】 評価規準

単 元	健康を支える環境づくり（環境と健康）	
評価時期	2学期 8月～10月	
単元の目標	・環境と健康について、理解することができるようにする。 ・環境と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ・環境と健康について、自他や社会の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。	・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・課題プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・授業ノートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	健康を支える環境づくり（食品と健康）	
評価時期	2学期 11月～12月	
単元の目標	・食品と健康について、理解することができるようにする。 ・食品と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ・食品と健康について、自他や社会の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。	・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・課題プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・授業ノートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

令和5年度 3学期 保健体育科【保健】 評価規準

単 元	健康を支える環境づくり（保健・医療制度及び地域の保健・医療機関）
評価時期	3学期 1月～2月
単元の目標	・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、理解することができるようにする。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。	・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・課題プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・学年末末考査 ・ワークシートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・授業ノートの記述内容 ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	健康を支える環境づくり（様々な保健活動や社会対策）	
評価時期	3学期 2月	
単元の目標	・様々な保健活動や社会対策について、理解することができるようにする。 ・様々な保健活動や社会対策に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ・様々な保健活動や社会対策について、自他や社会の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。	・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 課題プリントの記述内容
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ ワークシートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・ 授業ノートの記述内容 ・ 振り返りシートの記述内容 ・ 教師による行動観察

単 元	健康を支える環境づくり（健康に関する環境づくりと社会参加）		
評価時期	3 学期 2 月～3 月		
単元の目標	・健康に関する環境づくりと社会参加について、理解することができるようにする。 ・健康に関する環境づくりと社会参加に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要でありそれに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。	・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康を支える環境づくりについでの学習に主体的に取り組もうとしている。	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 課題プリントの記述内容		
思考・判断・表現	・ 学年末末考査 ・ ワークシートの記述内容		
主体的に学習に取り組む態度	・ 授業ノートの記述内容 ・ 振り返りシートの記述内容 ・ 教師による行動観察		

外国語科【英語コミュニケーションⅡ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 英語科

教 科	外国語	科 目	英語コミュニケーションⅡ		
単 位 数	4	学 年	2	類 型	Ⅰ・Ⅱ類型
教 科 書	CROWN English CommunicationⅡ（三省堂）				
科目目標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、学習指導要領第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。 ※「第1款」の内容は後述の通り。 1 聞くこと (1) 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 (2) 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2 読むこと (1) 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 (2) 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 3 話すこと[やり取り] (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 (2) 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などについて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して詳しく伝え合うことができるようにする。 4 話すこと[発表] (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して詳しく伝えることができるようにする。 (2) 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。				

	5 書くこと (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 (2) 社会的な話題について、使用する語句や文、事前準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 ※第1款 目標 1 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
--	--

令和5年度 1学期 外国語科【英語コミュニケーションⅡ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】評価規準

単 元	Lesson 1 Lost in Translation
評価期間	4月
単元の目標	・言語材料（不定詞の意味上の主語、不定詞の受け身、動名詞の受け身）を理解する。 ・内容（翻訳できないことば）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W) ※ (L)：聞くこと、(R)：読むこと、(S や・発)：話すこと[やり取り][発表]、(W)：書くこと

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1学期中間考査 ・ 学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・ 第1学期中間考査 ・ Give It a Try!の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 2 One Book Can Empower a Child
評価時期	4月～5月
単元の目標	・ 言語材料（動名詞の意味上の主語、不定詞の完了形）を理解する。 ・ 内容（アジアの国々の子供たちへ絵本を届ける活動）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・学習プリントの記述内容 ・単語テスト	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・Your Reaction の内容 ・課題の記述内容	

単 元	Lesson 3 Accessible Japan
評価時期	5 月
単元の目標	・言語材料（さまざまな分詞構文、強調構文）を理解する。 ・内容（障がい者のために活動するジョシュ・グリズデイルさん）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1学期期末考査 ・ 学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・ 第1学期期末考査 ・ Give It a Try!の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 4 Crossing the Border ---Medecins Sans Frontieres---
評価時期	6 月
単元の目標	・ 言語材料（関係副詞の非制限用法、不定詞＋前置詞）を理解する。 ・ 内容（貫戸朋子医師の「国境なき医師団」での体験）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1学期期末考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ 単語テスト	
思考・判断・表現	・ 第1学期期末考査	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ Your Reaction の内容 ・ 課題の記述内容	

単 元	パフォーマンステスト		
評価時期	4月～6月		
単元の目標	・ 内容（日常的な話題または社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S 発) (W)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 情報や考え、意見などを、論理性に注意して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S 発) (W)	・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題①
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題②
主体的に学習に取り組む態度	・Self-Check の記述内容

令和5年度 2学期 外国語科【英語コミュニケーションⅡ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】評価規準

単 元	Lesson 5 Mental Toughness	
評価期間	8月～9月	
単元の目標	・言語材料（前置詞＋関係代名詞、無生物主語の他動詞構文）を理解する。 ・内容（スポーツにおけるメンタル・タフネス）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・Give It a Try!の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 7 Why Biomimicry?	
評価時期	9 月	
単元の目標	・ 言語材料（if 節のない仮定法、未来に関する仮定法、仮定法現在）を理解する。 ・ 内容（自然の模倣から新しいデザインを生み出すバイオミミクリー）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。（L）（R） ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。（L）（R） ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。（S や・発）（W）	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。（L）（R） ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。（L）（R） ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。（S や・発）（W）
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期中間考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ 単語テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期中間考査	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ Your Reaction の内容 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 6 Walking in Gaudi' s Footsteps	
評価時期	10 月	
単元の目標	・ 言語材料（助動詞＋have＋過去分詞、S is C[=whether 節]）を理解する。 ・ 内容（サグラダ・ファミリアの主任彫刻師、外尾悦郎さんの記事）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。（L）（R） ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ Give It a Try! の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 8 Invisible No Longer
評価時期	11 月
単元の目標	・ 言語材料 (be to 不定詞、結果を表す不定詞) を理解する。 ・ 内容 (コートジボワールのカカオ農園の女性たちの活動) について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・学習プリントの記述内容 ・単語テスト	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・Your Reaction の内容 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容	

単 元	パフォーマンステスト		
評価時期	7月～11月		
単元の目標	・内容（日常的な話題または社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S 発) (W)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・情報や考え、意見などを、論理性に注意して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S 発) (W)	・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題①
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題②
主体的に学習に取り組む態度	・Self-Check の記述内容

令和5年度 3学期 外国語科【英語コミュニケーションⅡ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】評価規準

単 元	Lesson 9 Nudges	
評価期間	1月	
単元の目標	・言語材料（未来進行形、未来完了形、受け身の進行形）を理解する。 ・内容（人々のよりよい選択を手助けするナッジという仕組み）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・Give It a Try!の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 10 Are We Alone?	
評価時期	2 月	
単元の目標	・ 言語材料（独立分詞構文、倒置）を理解する。 ・ 内容（リチャード・ドーキンス博士による地球外生命体の探索）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 学習プリントへの記述内容 ・ 単語テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ Your Reaction の内容 ・ 課題の記述内容	

単 元	Optional Lesson The Sustainability of Happiness	
評価時期	2 月	
単元の目標	・ 内容（ホセ・ムカヒ大統領のスピーチに込められたメッセージ）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ Now That You Have Read の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	パフォーマンステスト	
評価時期	12 月～2 月	
単元の目標	・ 内容（日常的な話題または社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S 発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報や考え、意見などを、論理性に注意して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S 発) (W)	・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 学年末考査 ・ パフォーマンステストの課題①
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ パフォーマンステストの課題②
主体的に学習に取り組む態度	・ Self-Check の記述内容

外国語科【英語コミュニケーションⅡ】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 英語科

教 科	外国語	科 目	英語コミュニケーションⅡ		
単 位 数	3	学 年	2	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	CROWN English CommunicationⅡ（三省堂）				
科目目標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、学習指導要領第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。 ※「第1款」の内容は後述の通り。 1 聞くこと (1) 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 (2) 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2 読むこと (1) 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 (2) 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 3 話すこと[やり取り] (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 (2) 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などについて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して詳しく伝え合うことができるようにする。 4 話すこと[発表] (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して詳しく伝えることができるようにする。 (2) 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。				

	5 書くこと (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 (2) 社会的な話題について、使用する語句や文、事前準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 ※第1款 目標 1 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
--	--

令和5年度 1学期 外国語科【英語コミュニケーションⅡ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	Lesson 1 Lost in Translation
評価期間	4月
単元の目標	・言語材料（不定詞の意味上の主語、不定詞の受け身、動名詞の受け身）を理解する。 ・内容（翻訳できないことば）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W) ※ (L)：聞くこと、(R)：読むこと、(S や・発)：話すこと[やり取り][発表]、(W)：書くこと

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1学期中間考査 ・ 学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・ 第1学期中間考査 ・ Give It a Try!の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 2 One Book Can Empower a Child
評価時期	4月～5月
単元の目標	・ 言語材料（動名詞の意味上の主語、不定詞の完了形）を理解する。 ・ 内容（アジアの国々の子供たちへ絵本を届ける活動）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1学期中間考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ 単語テスト	
思考・判断・表現	・ 第1学期中間考査	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ Your Reaction の内容 ・ 課題の記述内容	

単 元	Lesson 3 Accessible Japan
評価時期	5 月
単元の目標	・ 言語材料（さまざまな分詞構文、強調構文）を理解する。 ・ 内容（障がい者のために活動するジョシュ・グリズデイルさん）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1学期期末考査 ・ 学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・ 第1学期期末考査 ・ Give It a Try!の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 4 Crossing the Border ---Medecins Sans Frontieres---
評価時期	6 月
単元の目標	・ 言語材料（関係副詞の非制限用法、不定詞＋前置詞）を理解する。 ・ 内容（貫戸朋子医師の「国境なき医師団」での体験）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・学習プリントの記述内容 ・単語テスト	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・Your Reaction の内容 ・課題の記述内容	

単 元	パフォーマンステスト		
評価時期	4月～6月		
単元の目標	・内容（日常的な話題または社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S 発) (W)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・情報や考え、意見などを、論理性に注意して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S 発) (W)	・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題①
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題②
主体的に学習に取り組む態度	・Self-Check の記述内容

令和5年度 2学期 外国語科【英語コミュニケーションⅡ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	Lesson 5 Mental Toughness	
評価期間	8月～9月	
単元の目標	・言語材料（前置詞＋関係代名詞、無生物主語の他動詞構文）を理解する。 ・内容（スポーツにおけるメンタル・タフネス）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・Give It a Try!の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 7 Why Biomimicry?	
評価時期	9 月	
単元の目標	・ 言語材料（if 節のない仮定法、未来に関する仮定法、仮定法現在）を理解する。 ・ 内容（自然の模倣から新しいデザインを生み出すバイオミミクリー）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。（L）（R） ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。（L）（R） ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。（S や・発）（W）	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。（L）（R） ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。（L）（R） ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。（S や・発）（W）
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期中間考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ 単語テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期中間考査	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ Your Reaction の内容 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 6 Walking in Gaudi' s Footsteps	
評価時期	10 月	
単元の目標	・ 言語材料（助動詞＋have＋過去分詞、S is C[=whether 節]）を理解する。 ・ 内容（サグラダ・ファミリアの主任彫刻師、外尾悦郎さんの記事）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。（L）（R） ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査 ・ Give It a Try! の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 8 Invisible No Longer
評価時期	11 月
単元の目標	・ 言語材料 (be to 不定詞、結果を表す不定詞) を理解する。 ・ 内容 (コートジボワールのカカオ農園の女性たちの活動) について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期期末考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ 単語テスト	
思考・判断・表現	・ 第2学期期末考査	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ Your Reaction の内容 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	パフォーマンステスト		
評価時期	7月～11月		
単元の目標	・ 内容（日常的な話題または社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S 発) (W)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 情報や考え、意見などを、論理性に注意して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S 発) (W)	・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題①
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題②
主体的に学習に取り組む態度	・Self-Check の記述内容

令和5年度 3学期 外国語科【英語コミュニケーションⅡ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	Lesson 9 Nudges	
評価期間	1月	
単元の目標	・言語材料（未来進行形、未来完了形、受け身の進行形）を理解する。 ・内容（人々のよりよい選択を手助けするナッジという仕組み）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・学習プリントの記述内容	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・Give It a Try!の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容	

単 元	Lesson 10 Are We Alone?	
評価時期	2 月	
単元の目標	・ 言語材料（独立分詞構文、倒置）を理解する。 ・ 内容（リチャード・ドーキンス博士による地球外生命体の探索）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 学習プリントへの記述内容 ・ 単語テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ Your Reaction の内容 ・ 課題の記述内容	

単 元	Optional Lesson The Sustainability of Happiness	
評価時期	2 月	
単元の目標	・ 内容（ホセ・ムカヒ大統領のスピーチに込められたメッセージ）について、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。(L) (R) ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料に留意して内容を把握する技能を身に付けている。(L) (R) ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。(L) (R) ・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ Now That You Have Read の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	パフォーマンステスト	
評価時期	12 月～2 月	
単元の目標	・ 内容（日常的な話題または社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S 発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報や考え、意見などを、論理性に注意して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく伝える技能を身に付けている。(S 発) (W)	・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)	・聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して、詳しく話して伝えたり、書いて伝えたりしている。(S 発) (W)

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 学年末考査 ・ パフォーマンステストの課題①
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ パフォーマンステストの課題②
主体的に学習に取り組む態度	・ Self-Check の記述内容

外国語科【論理・表現Ⅱ】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 英語科

教 科	外国語	科 目	論理・表現Ⅱ		
単 位 数	3	学 年	2	類 型	I・Ⅱ類型
教 科 書	be Smart English Logic and ExpressionⅡ (いいずな書店)				
科目目標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、学習指導要領第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。 ※「第1款」の内容は後述の通り 1 話すこと[やり取り] (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。 (2) 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。 2 話すこと[発表] (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 (2) 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 3 書くこと (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 (2) 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 ※第1款 目標 1 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による				

	聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
--	--

令和5年度 1学期 外国語科【論理・表現Ⅱ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	1 st Zone Daily Life	
評価時期	4月～5月	
単元の目標	・言語材料（時制、名詞句、名詞節、助動詞）を理解する。 ・目的（自分の将来のことや、学校・家庭での出来事を伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（将来の夢、家で過ごす時間、学校生活）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W） ※（S や・発）：話すこと[やり取り][発表]、（W）：書くこと	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 （S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 （S や・発）（W）

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・Task, Check の内容 ・文法語法テスト
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・学習プリント② (Write) の内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・学習プリント① (Share) ② (Write) の内容 ・課題の記述内容

単 元	2 nd Zone The Workings of Society	
評価時期	5月～6月	
単元の目標	・言語材料（形容詞、形容詞句、形容詞節）を理解する。 ・目的（刻々と変化する社会の様子や、そこで暮らす私たちの生活について考え、伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（体験から学んだこと、現代社会の利便性、情報社会）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 (S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 (S や・発) (W)

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期期末考査 ・Task, Check の内容 ・文法語法テスト
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・学習プリント② (Write) の内容 ・オンライン英会話学習プリントの内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・学習プリント① (Share) ②(Write) の内容 ・オンライン英会話学習プリントの内容 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容

単 元	パフォーマンステスト		
評価時期	4月～6月		
単元の目標	・内容（日常的な話題や社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して伝える技能を身に付けている。(S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。(S や・発) (W)	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題①
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題②
主体的に学習に取り組む態度	・Self-Check の記述内容

令和5年度 2学期 外国語科【論理・表現Ⅱ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

単 元	3 rd Zone The Nature of the Human Mind	
評価時期	8月～10月	
単元の目標	・言語材料（副詞、副詞句、副詞節）を理解する。 ・目的（人の「ころ」のはたらきをテーマに、言葉や思考、感情について考え、伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（ことばと思考、感情と心のはたらき、リーダーシップの意味）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 （S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 （S や・発）（W）

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期中間考査 ・Task, Check の内容 ・文法語法テスト
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・学習プリント② (Write) の内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・学習プリント① (Share) ② (Write) の内容 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容

単 元	4 th Zone Globalization and Identity	
評価時期	10月～11月	
単元の目標	・言語材料（比較、仮定法、接続詞）を理解する。 ・目的（世界の中で日本はどのような国なのか、自分はどのように社会とかかわっているのかを知り、考え、伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（日本の紹介、イノベーション、多様性を受け入れる社会）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 (S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 (S や・発) (W)

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第2学期期末考査 ・Task, Check の内容 ・文法語法テスト
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・学習プリント② (Write) の内容 ・オンライン英会話学習プリントの内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・学習プリント① (Share) ② (Write) の内容 ・オンライン英会話学習プリントの内容 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容

単 元	パフォーマンステスト		
評価時期	7月～11月		
単元の目標	・ 内容（日常的な話題や社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して伝える技能を身に付けている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。（S や・発）（W）	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 第2学期中間考査 ・ 第2学期期末考査 ・ パフォーマンステストの課題①		
思考・判断・表現	・ 第2学期中間考査 ・ 第2学期期末考査 ・ パフォーマンステストの課題②		
主体的に学習に取り組む態度	・ Self-Check の記述内容		

令和5年度 3学期 外国語科【論理・表現Ⅱ＜Ⅰ・Ⅱ類型＞】 評価規準

元	5 th Zone Towards a Sustainable Society	
評価時期	1月～2月	
単元の目標	・言語材料（「ある」「いる」「かかる」、使役動詞・知覚動詞、無生物主語）を理解する。 ・目的（日本、そして世界を、継続的に住みやすく魅力的な場所にするために何ができるかを考え、伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（観光と日本社会、食と健康、世界が抱える問題とSDGs）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 （S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 （S や・発）（W）
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・Task, Check の内容 ・文法語法テスト	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・学習プリント②（Write）の内容 ・オンライン英会話学習プリントの内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・学習プリント①（Share）②（Write）の内容 ・オンライン英会話学習プリントの内容 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容	

単 元	パフォーマンステスト		
評価時期	12 月～ 2 月		
単元の目標	・ 内容（日常的な話題や社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して伝える技能を身に付けている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。（S や・発）（W）	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 学年末考査 ・ パフォーマンステストの課題①		
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ パフォーマンステストの課題②		
主体的に学習に取り組む態度	・ Self-Check の記述内容		

外国語科【論理・表現Ⅱ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 英語科

教 科	外国語	科 目	論理・表現Ⅱ		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	be Smart English Logic and ExpressionⅡ（いいずな書店）				
科目目標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、学習指導要領第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。 ※「第1款」の内容は後述の通り 1 話すこと[やり取り] (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。 (2) 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。 2 話すこと[発表] (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 (2) 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 3 書くこと (1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 (2) 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 ※第1款 目標 1 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による				

	聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
--	--

令和5年度 1学期 外国語科【論理・表現Ⅱ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

元	1 st Zone Daily Life	
評価時期	4月～5月	
単元の目標	・言語材料（時制、名詞句、名詞節、助動詞）を理解する。 ・目的（自分の将来のことや、学校・家庭での出来事を伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（将来の夢、家で過ごす時間、学校生活）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W） ※（S や・発）：話すこと[やり取り][発表]、（W）：書くこと	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 （S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 （S や・発）（W）

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期中間考査 ・Task, Check の内容 ・文法語法テスト
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・学習プリント② (Write) の内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・学習プリント① (Share) ② (Write) の内容 ・課題の記述内容

単 元	2 nd Zone The Workings of Society	
評価時期	5月～6月	
単元の目標	・言語材料（形容詞、形容詞句、形容詞節）を理解する。 ・目的（刻々と変化する社会の様子や、そこで暮らす私たちの生活について考え、伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（体験から学んだこと、現代社会の利便性、情報社会）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 (S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 (S や・発) (W)

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・第1学期期末考査 ・Task, Check の内容 ・文法語法テスト
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・学習プリント② (Write) の内容
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・学習プリント① (Share) ②(Write)の内容 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容

単 元	パフォーマンステスト		
評価時期	4 月～6 月		
単元の目標	・ 内容（日常的な話題や社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して伝える技能を身に付けている。 （S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 （S や・発）（W）	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	・ 第 1 学期中間考査 ・ 第 1 学期期末考査 ・ パフォーマンステストの課題①		
思考・判断・表現	・ 第 1 学期中間考査 ・ 第 1 学期期末考査 ・ パフォーマンステストの課題②		
主体的に学習に取り組む態度	・ Self-Check の記述内容		

令和5年度 2学期 外国語科【論理・表現Ⅱ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	3 rd Zone The Nature of the Human Mind	
評価時期	8月～11月	
単元の目標	・言語材料（副詞、副詞句、副詞節）を理解する。 ・目的（人の「こころ」のはたらきをテーマに、言葉や思考、感情について考え、伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（ことばと思考、感情と心のはたらき、リーダーシップの意味）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言語材料を理解している。 ・言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 （S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 （S や・発）（W）
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・Task, Check の内容 ・文法語法テスト	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・学習プリント②（Write）の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察 ・学習プリント①（Share）②（Write）の内容 ・課題の記述内容 ・Self-Check の記述内容	

単 元	4 th Zone Globalization and Identity	
評価時期	10 月～11 月	
単元の目標	・ 言語材料（比較、仮定法、接続詞）を理解する。 ・ 目的（世界の中で日本はどのような国なのか、自分はどのように社会とかかわっているのか）を知り、考え、伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（日本の紹介、イノベーション、多様性を受け入れる社会）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 （S や・発）（W）	・ 目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。（S や・発）（W）	・ 目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 （S や・発）（W）
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 2 学期期末考査 ・ Task, Check の内容 ・ 文法語法テスト	
思考・判断・表現	・ 第 2 学期期末考査 ・ 学習プリント②（Write）の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 学習プリント①（Share）②（Write）の内容 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	パフォーマンステスト
評価時期	7 月～ 1 1 月
単元の目標	・ 内容（日常的な話題や社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。（S や・発）（W）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して伝える技能を身に付けている。 (S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。 (S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 (S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題①	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・パフォーマンステストの課題②	
主体的に学習に取り組む態度	・Self-Check の記述内容	

令和5年度 1学期 外国語科【論理・表現Ⅱ＜Ⅲ類型＞】 評価規準

単 元	5 th Zone Towards a Sustainable Society
評価時期	1月～2月
単元の目標	・言語材料（「ある」「いる」「かかる」、使役動詞・知覚動詞、無生物主語）を理解する。 ・目的（日本、そして世界を、継続的に住みやすく魅力的な場所にするために何ができるかを考え、伝える）に応じて、相手に理解してもらえるように、多様な表現を用いて、内容（観光と日本社会、食と健康、世界が抱える問題とSDGs）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料を適切に用いて、内容について、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。 (S や・発) (W)	・ 目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。(S や・発) (W)	・ 目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 (S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ Task, Check の内容 ・ 文法語法テスト	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 学習プリント② (Write) の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 教師による行動観察 ・ 学習プリント① (Share) ② (Write) の内容 ・ 課題の記述内容 ・ Self-Check の記述内容	

単 元	パフォーマンステスト
評価時期	12 月～2 月
単元の目標	・ 内容（日常的な話題や社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、聞き手や読み手に詳しく伝えることができる。(S や・発) (W)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・考えや気持ち、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・内容について、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して伝える技能を身に付けている。 (S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしている。 (S や・発) (W)	・目的に応じて、聞き手や読み手に理解してもらえるように、内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、考えや気持ちなど、意見や主張、課題の解決策などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく話して伝え合ったり、発表したり、書いて伝えたりしようとしている。 (S や・発) (W)
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・パフォーマンステストの課題①	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・パフォーマンステストの課題②	
主体的に学習に取り組む態度	・Self-Check の記述内容	

情報科【情報Ⅰ】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 情報科

教 科	情報	科 目	情報Ⅰ		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	共通
教 科 書	高校情報Ⅰ Python				
科目目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 2 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 3 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。				

令和5年度 1学期 情報科【情報Ⅰ】 評価規準

単 元	第1章 情報社会				
評価期間	1学期 4～5月				
単元の目標	・情報やメディアの特性を踏まえ、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。 ・情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、背景を科学的に捉え、考察する。 ・情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報を活用し、自ら評価し改善するとともに、望ましい情報社会の構築に寄与する力を養う。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・情報やメディアの機能や特徴、問題解決の手段・手法について理解している。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、個人情報とプライバシー及び情報モラルについて理解している。 ・産業財産権や著作権の概要及び著作者や伝達者の権利について、理解している。		・状況に応じて収集した情報を整理・分析し、問題を解決する手順について考えている。 ・情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。 ・著作権法の権利の制限について考察している。		・情報社会の問題を発見することを通して、より広く深い学びに取り組み、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。 ・法規を遵守し、情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。 ・著作物の利用において、著作権の侵害にならない利用となるよう取り組んでいる。	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	・ 第 1 学期期末考査 ・ PC 実習の内容
思考・判断・表現	・ 第 1 学期期末考査 ・ 課題の内容
主体的に学習に取り組む態度	・ PC 実習の取り組み状況 ・ 課題の取り組み状況 ・ 教師による行動観察

単 元	第 2 章 情報デザイン	
評価期間	1 学期 5 月	
単元の目標	・ 目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通じ、情報の科学的な見方・考え方を働かせて、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について科学的に理解する。 ・ 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付け、コンテンツを表現し、評価し改善する。 ・ 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 情報デザインの意味について理解している。 ・ 情報デザインを適切に行う方法を身に付けている。 ・ Web ページや HTML の基礎及びコンテンツ制作の一連の過程について理解している。	・ 目的や受け手の状況に応じた情報デザインを考えている。 ・ 情報デザインの考え方や方法に沿って適切に表現できる。 ・ コンテンツの設計、制作、実行、評価、改善ができる。	・ コミュニケーションの目的や伝える情報を明確にしようと粘り強く取り組もうとしている。 ・ 情報デザインの考え方や方法に基づいて考えようと粘り強く取り組もうとしている。 ・ Web ページの閲覧数を増やすための工夫に取り組んでいる。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 1 学期期末考査 ・ PC 実習の内容	
思考・判断・表現	・ 第 1 学期期末考査 ・ 課題の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ PC 実習の取り組み状況 ・ 課題の取り組み状況 ・ 教師による行動観察	

単 元	第3章 デジタル	
評価期間	1 学期 6 月～7 月	
単元の目標	・ コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解する。 ・ コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する。 ・ コンピュータを構成する装置やコンピュータによる演算や数値計算の仕組みに関心を持ち、デジタル化された情報を主体的かつ適切に取り扱おうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 論理回路による演算の仕組みについて理解している。 ・ 数値、文字、音声、画像などをデジタル情報に変換する原理を理解している。 ・ コンピュータの構成や計算の仕組みの概要を理解している。	・ 論理回路の仕組みを説明することができる。 ・ 数値、文字、音声、画像などの情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 ・ コンピュータを構成する各装置の機能と相互の関係やコンピュータの計算の仕組みを説明することができる。	・ 論理回路に応じてトレースを丁寧に行っている。 ・ データ量の計算について意欲的に取り組んでいる。 ・ コンピュータが行う計算を自分で行い、確認しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第1 学期期末考査 ・ PC 演実の内容	
思考・判断・表現	・ 第1 学期期末考査 ・ 課題の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ PC 実習の取り組み状況 ・ 課題の取り組み状況 ・ 教師による行動観察	

令和5年度 2 学期 情報科【情報Ⅰ】 評価規準

単 元	第4章 ネットワーク
評価期間	2 学期 8 ～10 月
単元の目標	・ ネットワークの仕組みや構成要素、セキュリティ対策や技術、データベースの概要について理解している。 ・ ネットワークの仕組み、目的に応じて使われる情報セキュリティ技術について考察することができる。 ・ ネットワークの仕組みやサービスに関心を持ち、情報セキュリティを維持するための対策を進んで行おうとしている。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・インターネットがつながる仕組みやWebページの閲覧、電子メールの送受信の仕組みについて理解している。 ・データを表現、蓄積するための表し方と、データベースの仕組みについて理解し、技能を身に付けている。 ・コンピュータウィルス、不正アクセス、暗号などの安全対策や情報技術について理解している。	・IPアドレスの役割、Webページや電子メールの仕組みについて、データの流れを追いながら説明することができる。 ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考察している。 ・セキュリティ上の脅威に対する安全対策について、様々な場面で考察・判断している。	・ネットワークコマンドを使ってネットワークの状況を確認しようとしている。 ・適切なパスワードを選定する方法や、コンピュータウィルス対策、感染時の処置を考察しようとしている。 ・情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・PC実習の内容	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・課題の内容	
主体的に学習に取り組む態度	・PC実習の取り組み状況 ・課題の取り組み状況 ・教師による行動観察	

単 元	第5章 問題解決
評価期間	2学期 10月～12月
単元の目標	・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し、技能を身に付ける。また、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解する。 ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。また、目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行い、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考える。 ・問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方、モデル化とシミュレーションの仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- データの収集や数値データの整理について理解している。 - データの尺度水準の特徴や基本統計量について理解し、表計算ソフトウェアを用いて算出することができる。 - 社会や自然などにおける事象のモデル化やシミュレーションの手順を理解している。	- 必要な情報を得るための適切なグラフを選択し、基本統計量からデータの分析・判断ができる。 - 移動平均や回帰分析の手法を、計算ソフトウェアを用いて行い、得られた結果から考察することができる。 - 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行い、その結果から考察することができる。	- 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や分析を行おうとしている。 - 表計算ソフトウェアを用いて、収集した情報の処理や視覚化に興味を持って取り組んでいる。 - 現実の現象について、モデル化を試み、シミュレーションを行おうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	- 第2学期期末考査 - PC 実習の内容	
思考・判断・表現	- 第2学期期末考査 - 課題の内容	
主体的に学習に取り組む態度	- PC 実習の取り組み状況 - 課題の取り組み状況 - 教師による行動観察	

令和5年度 3学期 情報科【情報Ⅰ】 評価規準

単 元	第6章 プログラミング
評価期間	3学期 1～3月
単元の目標	- アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付ける。 - 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用し、その過程を評価し改善することができる。 - プログラミングによって問題を発見・解決する活動を通して、問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする態度、結果を振り返って改善しようとする態度、生活の中で使われているプログラムを見いだして改善することなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解し、簡単な基本構造のプログラムを作成する技能を身に付けている。 ・ 配列・関数の概念について理解している。 ・ 探索・整列のアルゴリズムについて理解している。	・ 目的に応じたアルゴリズムを考え、フローチャートで表現することができる。 ・ 基本制御構造を適切に用いて、簡単なプログラムを作成・表現することができる。 ・ 計算量の観点から、作成したプログラムの改善を考えることができる。	・ 問題の発見・解決にコンピュータを積極的に活用しようとしている。 ・ プログラミングの結果を振り返り、改善しようとしている。 ・ プログラミングの作成途中で発生するエラーに対して、原因を発見し、修正に粘り強く取り組んでいる。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ PC 実習の内容	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 課題の状況	
主体的に学習に取り組む態度	・ PC 実習の取り組み状況 ・ 課題の取り組み状況 ・ 教師による行動観察	